

**令和8年度「AIを活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業」
AI英語アプリ導入及びオンライン交流実施業務
審査基準表**

審査項目		審査内容	配点	採点
1 業務内容に対する全体概要		生徒が使用している電子端末を用いて、インターネットブラウザ上で生徒が音読、プレゼンテーション練習、やりとり練習、まとまりのある英文を書くライティング練習及びオンライン国際交流ができるものとなっているか。	5	
		電子端末を用いて音読、プレゼンテーション練習、やりとり練習を行うだけでなく、オンライン国際交流を実施することで、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上及び英語学習へのモチベーション向上等に資するものとなっているか。	5	
		委託業務のスケジュールについて、具体的かつ予定期間内に完了するように計画されているか。	5	
2 AI英語アプリ	① SLA	対象となる生徒、教員分の情報処理能力をもっているか。	5	
	② 音読・プレゼンテーション機能	教員が音読用の英文を事前に登録することや、お手本の英語音声を生徒が確認することが可能か。	5	
		音声認識技術を用いたスピーキングのスコアリングが可能であり、生徒に対して誤りを指摘することが可能か。	5	
		生徒が自身のプレゼンテーションを教員に提出することが可能か。	5	
	③ やりとり練習機能	生徒があらかじめ設定されたテーマにおいて、生成AIを相手に、英語でのやりとりを練習することが可能か。	5	
		教員がトークテーマ・難易度・達成項目を設定することが可能か。	5	
		やりとりの実績を確認し、教員にとっての評価を補助するものになっているか。	5	
	④ ライティング練習機能	生徒が英作文にあたり、文法チェックを行うことができるか。	5	
		教員が英作文のテーマ、単語数、使用する単語・文法等の達成項目が設定可能か。	5	
	3 オンライン国際交流	① 方法等	海外校との間で、①リアルタイムでの交流、②事前に撮影した動画を相互に交換し交流するビデオ交流、の2種類の交流が選択的に可能か。	5
② 調整サポート		オンライン国際交流の相手校のマッチングをはじめとする調整サポートは、学校が取り組みやすいものになっているか。	5	
③ 事前準備		オンライン国際交流の事前準備に関する副教材は、生徒にとって交流に向けてモチベーション向上につながるものになっているか。	5	
		オンライン国際交流の事前準備の内容は、教科書の内容と関連しており、学校の負担にならないものとなっているか。	5	
4 アセスメント	① 内容	「話す力」についてCEFR-J相当判定のテストを有しているか。	5	
	② 回数	導入開始前（あるいは直後）と事業開始後に2回テストを実施できるか。	5	
5 教員向けサポート	① 実績及びスコアの管理	教員が各生徒の練習回数やスコアを一覧で把握できるか。	5	
	② 個別相談窓口	平日に教員が相談できる窓口があるか。	5	
	③ 研修等	教員向けサポート及び研修が実施され、内容が充実しているか。	5	
6 安全性	① システム安全性	適切なウイルス対策及びマルウェア対策を行い、情報の改ざん、毀損及び漏えい等防止策がとられているか。	5	
7 実施能力	① 経費	事業の積算にかかる単価や経費が妥当であり、業務の提案内容と整合性がとれているか。 (配点(5点)×全提案者のうち最低提案額/本提案者の提案額)	5	
	② 受託実績	本業務を受託するに相応しい業務実績や熟練度があるか。	5	
	③ 事業実施体制	本業務を遂行するための体制が整っているか。	5	
8 その他		仕様書に示す業務に加えて、事業目的達成のための独自の有効な提案があるか。	5	
			合計	130
審査員 氏名：				